

環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与えとともに、3 Rをはじめとする地球環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。
本指導資料では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育掲示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
海をよごしていたのは、私たちのごみだった



環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
海をよごしていたのは、私たちのごみだった

年 月 日 名前

① 東京の川で見つかったいろいろなごみ。どんなごみがあるかな？

② 海のごみは、生き物にどんなえいさをあたえているのかな？

③ 自分のできる取組を考えよう。

環境学習の視点

自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい

生活の中から出される大量のプラスチックごみなどが、川や海的环境に大きな影響を及ぼしていることを理解するとともに、自分にできる取組を考え、実践する。

活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①を見て、海のごみが世界中でふえていることを知り、その原因について話し合う。 海を守るために、自分にできる取組を考えよう。	◇増え続けるプラスチックごみが海に流れ込み、世界中で海ごみがふえていることを伝える。 ◇イラストを基に、生活圏のごみが風や雨によって川に入り、海にたどり着いて、海を汚していることに気付かせる。	◆掲示用教材①
○掲示用教材②を基に、東京の川で実際に見つかったごみの種類について、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。	◇グラフを参考に、東京の川で見つかったごみの種類などについて考えさせ、生活から出たごみが川を汚していることに気付かせる。	◆掲示用教材② ◆ワークシート①
○掲示用教材③を参考に、川や海のごみを減らすための東京都の取組について知る。	◇写真を参考に、川や海のごみを回収する東京都の取組などについて伝える。	◆掲示用教材③
○掲示用教材④を参考に、プラスチックなどの海ごみが海の生物に与える影響について考える。	◇写真やイラストを参考に、海ごみが生き物に与える影響について、考えさせる。	◆掲示用教材④ ◆ワークシート②
○掲示用教材⑤を参考に、自分にできることを考える。	◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。	◆掲示用教材⑤ ◆ワークシート③
○気付いたことや感想を発表する。	◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活を心掛ける必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	

環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
海をよごしていたのは、^{わたし}私たちがごみだった

年 組 名前

1 東京の川で見つかったいろいろなごみ。どんなごみがあるかな？



2 海のごみは、生き物にどんなえいきょうをあたえているのかな？



3 自分にできる^{じぶん}取組^{とりくみ}を考えよう。

